

画像電子学会

第7回画像ミュージアム研究会のご案内

画像ミュージアム研究会では、画像電子技術の博物館応用、ならびにデジタル技術を利用した博物館情報の流通に必要な技術の研究成果を集め、情報交換を行う場を提供しています。このたび“博物館情報と画像の応用”というテーマで、以下のプログラムで第7回画像ミュージアム研究会を開催いたします。多数のみなさまのご参加をお待ちしております。

日時：2009年3月4日（水） 13:30～16:00

場所：京都高度技術研究所

京都市下京区中堂寺南町134番地

<http://www.astem.or.jp/about/access.html>

テーマ：博物館情報と画像の応用

参加費：1,000円（資料代）

プログラム

13:10-13:20 座長 開会挨拶

13:20-14:00 「歴史資料の超高精細画像による提示方式の検討」

安達文夫，鈴木卓治： 国立歴史民俗博物館

14:00-14:40 「博物館資料群中の語の共起関係を用いた関連語抽出」

山田 篤，小町祐史，安達文夫

： 京都高度技術研究所，大阪工業大学，国立歴史民俗博物館

14:40-15:00 <休憩>

15:00-15:40 「フォントオントロジーを用いたフォント選択」

谷田浩章，中井達也，小町祐史： 大阪工業大学

15:40-16:20 「Eye tracking and heuristics in designing

for situation awareness」

Henning Breuer, Frank Heidmann, Mitsuji Matsumoto

： Waseda University

16:20-16:30 座長 閉会挨拶

参加申込方法：

事前参加申し込みは、以下の画像電子学会のホームページから行って下さい。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/iieej/trans/kenaf.htm>

当日も受け付けております。